

会報

No. **124**

令和6.3.1

丹波篠山市立図書館が『ハタチ』になりました！

丹波篠山市立中央図書館 係長 たなはし なおと 棚橋 直人

丹波篠山市における図書館は、平成11年4月の「篠山市」誕生を機に、旧篠山町立本郷図書館を篠山市立本郷図書館として引継ぎ、平成15年4月に丹波篠山の「知」の拠点として、篠山市立中央図書館と篠山市民センター図書コーナーが同時に開館しました。また同年10月には、中央図書館に視聴覚ライブラリーが併設されました。

以降、中央図書館は市の中核図書館として、市民センター図書コーナーは学びと情報の館として、市民と本・知識・情報を結ぶ知的空間としてこれまで20年にわたり、多くの市民に利用されてきました。

令和5年度は、図書館開館20周年という節目を迎え、『ハタチ』となった図書館を市民の方々とともに祝っていただくため、各種講座や特別企画展などを開催することで、これまで図書館に足を運んだことがなかった方々にも図書館の存在を知っていただき、気軽に図書館にお越しいただくきっかけづくりとしました。中央図書館では「フラワーアレンジメント講座」「地元高校生による工作講座」「編み物講座」「昔あそび講座」など、市民センター図書コーナーでは「折り紙しおり作成講座」「紙飛行機講座」などを開催しました。

【20周年記念セレモニー】



セレモニー
くす玉割の様子

7月29日には、20周年記念セレモニーを開催し、くす玉割を皮切りに、来館者や関係者など約50人が参加し、地元篠山鳳鳴高校書道部による「開館20周年記念」の書道をバックに、日頃から図書館を支えていただいている図書館ボランティア13団体に教育長から感謝状を贈呈させていただきました。

また、10年前の開館10周年記念時（平成25年度）に集めた「未来郵便」533通を、館長から地元の郵便局長へ心を込めて手渡しました。10年前に書かれた手紙が、現在の自分や家族、知人、友人などのもとへ届けられることとなりました。

中央図書館長(左)と丹南郵便局長(右)



瀬尾まなほ氏
による講演会

セレモニー終了後には、瀬戸内寂聴氏の秘書経験を持つ瀬尾まなほ氏の「寂聴先生、ありがとう」と題した講演会を開催し、20周年という特別な節目に花を添えていただきました。

【その他の取り組み紹介】

毎月10日に開催している「丹波篠山だけ図書館の日」では、BGMを流し、地元ゲストの演奏や絵手紙講座、司書によるおはなし会を実施するなど、「音や声を出しても良い」という憩える日を作っています。

ボランティアの方には、目の不自由な方へ広報誌や新聞の朗読、汚破損本の修理、絵本などの読み聞かせなどで支援をしていただき、図書館を中心としたボランティアの輪が市内に広がっています。

この度20周年を迎えることで過去のことを再認識し、この先の未来に思いを馳せる時、図書館が本の宝庫や知識と情報の拠点として、市民とともに歩む図書館づくりを進めて行くことが大切であると考えます。今後も、地域の方が気軽に訪れることができ、親しみある・愛される図書館づくりに努めていきます。

西脇市図書館にて

「図書館基礎講座 2023 in Kansai」が開催されました！！

西脇市図書館 館長 楠本 昌信くすもと まさのぶ

【魅せる!! 魅せられる!! 西脇市図書館】

西脇市図書館は、昭和59年4月に開館しましたが、平成27年10月に複合施設の一施設として、現在の場所に新しく移転開館しました。

開館後3年間は、利用が右肩上がり増加しましたが、その後新型コロナウイルス感染拡大の影響等により減少し、未だ最盛期の状況には戻らず、貸出密度9.1にとどまっています。

しかしこの間、利用者に役立ち、魅力を感じていただき、満足していただける、魅せる図書館を目指して、館内至る所に展示を工夫するなど様々な取り組みを行ってきました。

特に利用者の本探しに役立つよう、各種のブックリストを作成配布し、中でも「ブックレシピ」と名付けた様々なテーマのリストは100種類を越え、好評をいただいているところです。また「学年別おすすめリスト」を全部読むと「読書王」の称号と、且つ1年間2倍の冊数を借りられる特典が付与される読書推進事業も行っています。利用者に参加してもらえるイベントとして「西脇市図書館大賞」を設け、本屋大賞のノミネート作品から投票してもらい大賞を決めるというユニークな取り組みを行っています。その他定期的にはおはなし会や読書会、ビブリオバトル、上映会等も実施しています。

当館では、人材育成の観点から職員の研修を重視しており、今年度は特に日本図書館協会主催の「図書館基礎講座 2023 in Kansai」を当館で開催できるようご協力をお願いしました。



【「図書館基礎講座 2023 in Kansai」】



令和5年10月3日及び17日の2日間、日本図書館協会主催の「図書館基礎講座 2023 in Kansai」を実行委員会の皆様のご尽力により当館で開催することができました。

これまで京阪神地区近隣で開催されることが多く、離れた地域からの参加が難しい状況にありました。こうした事情を実行委員会の皆様にご理解いただき、今回は敢えて京阪神地域から離れた北播磨の地域で開催され、北播磨地域周辺の図書館員にとっては喜ばしい状況となりました。またアンケートからも、通常は遠くて中々参加できない研修が多い中で、今回は北播磨地域で開催されたので参加できたという趣旨のご意見も多く寄せられました。

「図書館基礎講座」は平成22年に東京で始まった日本図書館協会主催の研修事業で、当時十分に研修を受けられない非正規職員が増加してきていたため、特にそうした職員を念頭に研修の機会を設ける趣旨で始められました。しかし東京だけでは受講できる人は限られていたため、全国各地でも開催されるようになり、関西では平成24年に初めて大阪で開催されました。

今回の内容は、「図書館の基礎」や「図書館の自由」「出版流通と資料選択」「図書館サービスの動向」の図書館の基礎を学ぶに相応しい4講座が実施され、プラス特別講座として「児童室の作り方」「魅せる西脇市図書館」も実施されました。2日間合わせて延べ約70人の参加がありました。

日々、忙しさに追われて、つい疎かになってしまいがちな基本を改めて思い返して、気を引き締められた参加者の皆さんもおられたのではないのでしょうか。

今後も、こうした有意義な研修に多くの図書館員が各地で参加できる機会が増えますよう願っています。

来フ拉里~

第1回研究集会報告

テーマ：「DX時代の学校支援
—公共図書館が期待されること—
開催日：令和6年1月17日（水）14:00~16:00
会場：兵庫県立図書館 第2研修室
講師：有山 裕美子 氏
（滋賀文教短期大学国文学科講師）



今年度第1回となる研究集会では、教諭や司書として教育に携わってきた経験を持つ有山氏に、DX時代にできる学校支援について、これまでの経験や取り組み事例を交えた講演をしていただきました。

ICTを活用した事例紹介では、生徒による電子書籍づくりの挑戦や学校図書館の一角に「ものづくり」スペースを設営して自ら考え探求していく取り組みなどをはじめ、コロナ禍においてもポータルサイトの作成や電子図書館の活用、Zoomによるレファレンスルームの開設など、様々な方法で子どもの主体的な学びを提供された事例もご紹介いただきました。

DX時代の学校支援としては、電子書籍やバリアフリー資料の提供、学習指導要領に沿ったサポートやデータベースの紹介などの「資料や情報の提供」や「デジタル・シティズンシップの育成」などが期待されており、そのためにも、公共図書館から「こんなことができるよ!」と発信し、上手く繋がっていくことが大切であると感じました。

DX時代だからこそ、デジタルとアナログのそれぞれの特性を活かし、多様化する要求に的確に応えていくことが、公共図書館の役割だと改めて気付かされた研究集会でした。

（三木市立吉川図書館 佐伯 あゆみ）

115年の時を越えて

洲本市立洲本図書館 さかぐち ゆき
坂口 祐希

図書館に流れたのは、佐渡裕さん指揮、スーパーキッズオーケストラ奏でるチャイコフスキー「弦楽セレナード」。「初めて図書館で演奏しました!」「僕たちの『推しの1冊』展示して下さったんですね。」等々の声を残し、スーパー小中高校生34名は、8月1日、洲本合宿を当館での演奏会で締めくくりました。

兵庫県で2番目に古い歴史を持つ当館は、令和5年9月12日に、現在地での開館25周年を迎えました。明治38年建築の鐘紡洲本工場のレンガ壁をリノベーションした建物は、図書館建築の第一人者鬼頭梓氏の手によります。

青年期を戦時下にした氏は、開架式閲覧室を持つ戦後型図書館建築のパイオニア。「図書館は市民の誰もが等しく利用できる公共空間であり、民主主義の根底を支えるもの」という信念を具現化したこの建物（近代化産業遺産に認定）は、市民の切実な思いがまた結実したものでもありました。

その思いは今も「図書館市民まつり」に引き継がれ、令和5年度「全国優良読書グループ表彰」を受けた「洲本図書館おはなし会ボランティア」の活動や、1140回を数えるテレホンライブラリー（0799-24-0024）での本の紹介をはじめとした連綿と続く日々の積み重ねが、当館の歴史を作っています。

夏のひと時、ゆったりと流れた「ニュー・シネマ・パラダイス」、はつらつと飛び跳ねた「フィドル・ファドル」が今も耳に残るように、利用者の心の栄養・人と人のつながり・まちづくりのもととなる図書館をこれからも作っていきます。

関わりと見えてくるもの

芦屋市立図書館 すずき りさこ
鈴木 理紗子

「図書館って結局古い本しか置いてないよね。」学生時代、こんな話を友人と話したような記憶があります。気が向いてふらっと寄っても、最新の人気本は置いていないし、特に面白いこともない……。結局、館内をぐるりと一周し、新聞とにらめっこしているベテラン利用者さんを横目に帰るのがお決まりのパターン。

図書館は古く、本しか置いていないイメージを持っていた私は、3年前の春、芦屋市の図書館に配属されました。

“カウンターの人”を経験し、図書館の本は予約ができるということを知りました。人気の本は予約が何百件も入っており、開架室に並ぶのははるか先の話……。どおりで最新の人気本が置いていないわけです。他にも、様々なイベントを開催していたり、スマホで本も読めちゃう。図書館って意外と楽しいことやってるやん!

古くて静かな施設のイメージしか持っていなかった私でしたが、裏側を覗くといろんな職種の人たちがいろんな方法で図書館を動かしていることを知りました。以前の私のような人に、どうやって図書館を楽しく活用してもらおうか……。今ではそんなことを考えながら図書館で働いています。

○ **兵庫県立図書館**

電子書籍サービスの開始(4/26) / ミニシアターの再開(10/15～)

○ **神戸市立図書館**

新図書館システム及びWEB座席予約システムの導入(1/31) / ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングの実施(8/7～11/5)

○ **尼崎市立図書館**

図書館システム更新・ホームページのリニューアル(1/4) / 図書館公式アプリケーション及び図書館公式LINEの運用開始(2/1)

○ **宝塚市立図書館**

館内照明をLEDに変更(9/6～8)

○ **川西市立中央図書館**

ICタグ貼付作業開始(10/2) / 児童コーナーに授乳室を設置(11/15)

○ **三田市立図書館**

ICタグ導入に伴う自動貸出機設置・図書館システム更新(10/27)

○ **明石市立図書館**

春の読書週間「ことばのあそびば」と題して各種行事を実施(4/29) / 妊婦さん向け本の郵送サービス「らくママ便」を開始(10/1) / 秋の読書週間「みになることをはじめよう」と題して各種行事を実施(10/18)

○ **加古川市立中央図書館**

小学生を対象に、GIGAスクール用端末にも対応した児童書(読み放題)電子書籍の公開を開始(7/1)

○ **小野市立図書館**

自動貸出機・自動返却機・セキュリティゲート設置、トイレ洋式化(1/4) / 子どもの読書週間イベント「大型絵本のおはなし会」・「読書ビンゴ」(4/23～5/22) / 読書週間イベント「利用者が選んだ一番おすすめの本投票」・「図書館からの挑戦状」(10/23～11/27)

○ **加西市立図書館**

スマート図書館サービス開始【内容】電子図書館サービス・図書館LINE連携・スマート登録・スマート貸出・公民館等での本の返却、貸出開始(3/1)

○ **加東市立図書館**

図書館システムの入れ替え(2/21～3/2) / 利用者用インターネットパソコン入替(11/17～) / 宅配サービス開始(12/1)

○ **姫路市立図書館**

図書館情報システム更新・電子書籍貸出しサービス「姫路市電子図書館」運用開始(3/1) / 姫路城世界遺産登録30周年記念展示事業「姫路の城とお殿さん」(11/1～12/27)

○ **相生市立図書館**

スマートフォンでのバーコード提示による貸し出し開始(7/19)

○ **上郡町立図書館**

男女共同参画展示(6/20～7/16) / クラフト講座

(7/23・27・8/3) / 読書講演会のあゆみ展(8/12～9/24) / 角田光代×尾崎美紀 対談講演(9/24) / 本の島めぐりマップ(播磨科学公園都市圏域共同企画)(11/1～) / アキノイサム絵本原画展(11/18～11/28) / 秋野和子×三木敏史 対談講演(11/26) / 相続・遺言に関する展示(12/1～12/26)

○ **いちかわ図書館**

マイナンバーカード運用対応開始(3/1)

○ **豊岡市立図書館**

電子図書館サービス開始(7/3) / セルフ貸出専用機の設置(豊岡本館・日高分館)(8/26)

○ **朝来市図書館**

夜の読書部開始 閉館後の図書館で、参加者によるテーマに沿ったおすすめ本の紹介(3/24)

○ **丹波篠山市立中央図書館**

開館20周年記念事業・記念セレモニー(未来郵便引渡式、ボランティア団体表彰)・特別講演会「寂聴さん、ありがとう」瀬尾まなほ氏・特別展示「図書館20年のあゆみ」・記念発表会(市内6団体)(7/29・30) / 図書館システム更新(5/19)

○ **淡路市立図書館**

「図書館×まちづくり」あかし市民図書館・西脇市図書館との3市連携会議(2/13) 【津名図書館】展示 抄録彫物ひねもす博覧会-淡路の太鼓台と岸和田の地車-(3/3～4/30) / 特別記念講演 ダンジリとは何か?(3/19) / 淡路島の植物を使って紙すき体験 和紙をつくろう!

(4/30) / 展示 淡路島の鍛冶道具展(6/3～6/28) / 職人さんと一緒にかんな削り体験 かんなで削り隊♪(6/24～6/25) / 手話で絵本の読み聞かせ(7/15) / 展示 淡路島に自生する植物標本展(8/1～9/30) / 南光コレクション presents 植物のフレームをつくろう!(8/20) / 展示 南光重毅先生が撮影したフィルムデータをデジタル化・スライドショー公開(9/1～10/1) / 展示 富山早苗展～曼荼羅の世界～(11/1～11/27) 【東浦図書館】淡路島の植物ハカセ・南光重毅先生の蔵書を集めた 南光コレクション公開(3/1) / 南光コレクション公開記念イベント植物標本づくりワークショップ(3/25・4/2) / 淡路津名紙を使ってカードケースを作ろう(5/13) / 映画&トークイベント トランスジェンダーのリアル(7/9) / 南光コレクション公開記念イベント 押し花アートワークショップ(7/23) / 南光コレクション公開記念イベント 草木染め体験

(8/5) / 世界アルツハイマーデー グループホーム入所者による作品展示(9/1～9/30) / 展示 源氏物語～源氏絵と和歌の世界～(10/1～11/12) / パープルリボンプロジェクト ハンドメイドリボン作り(11/11)

兵庫県図書館協会会報 No.124
令和6年3月1日 発行
編集・発行：兵庫県図書館協会
〒673-8533 明石市明石公園1-27 (兵庫県立図書館内)
Tel 078-918-2586 Fax 078-918-2500